

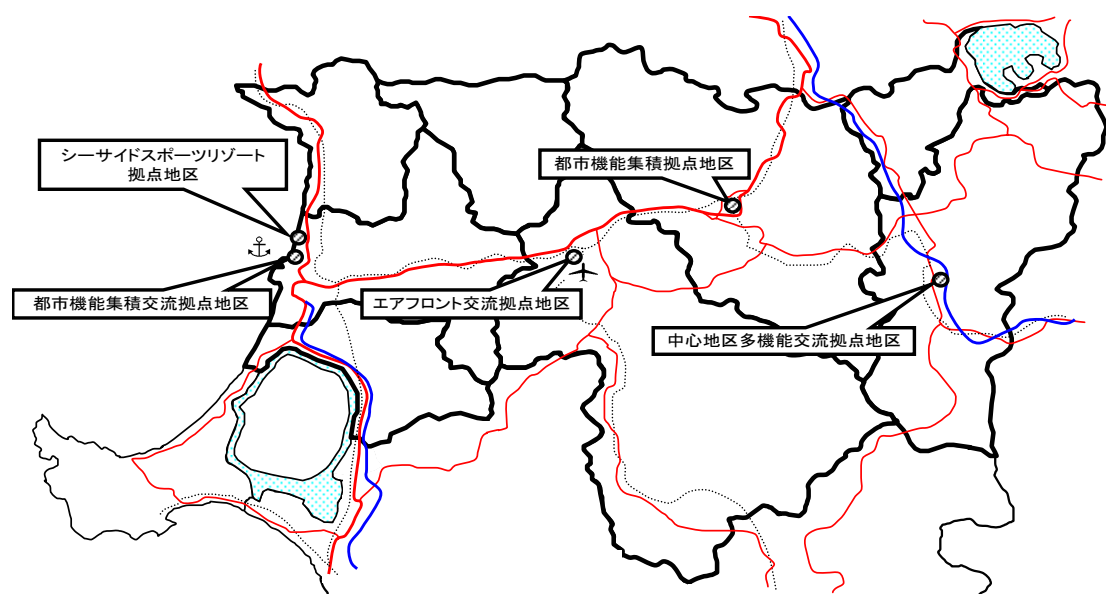
第2章 拠点地区の区域及び当該地区ごとに実施すべき事業に関する事項

2. 1 拠点地区の設定

当地域全体の振興を図るため、大館市、能代市、鹿角市、北秋田市の4市の市街地等を核とし、それらを相互に連携し地域強化を目指すとともに、産業の集積をはじめ各種の都市機能の集積を促進し、秋田市をはじめ青森県及び岩手県との連携を高め、北東北の交流拠点地域としての構築を目指す。

このため、既存集積との関連、周辺地区とのアクセス、秋田県及び構成市町の構想及び計画を考慮し、効率的、効果的な整備が可能な次の5地区を拠点地区に選定した。

- | | |
|--|--------|
| 1. 都市機能集積拠点地区（大館駅周辺地区） | 71.4ha |
| 2. 都市機能集積交流拠点地区（能代市畠町地区） | 63.0ha |
| 3. シーサイドスポーツリゾート拠点地区
（能代市落合、河畔公園地区） | 83.0ha |
| 4. 中心地区多機能交流拠点地区（花輪駅前地区） | 62.3ha |
| 5. エアフロント交流拠点地区（北秋田市脇神地区） | 13.0ha |



2. 2 拠点地区の性格

拠点地区においては、適切な土地利用と良好な景観形成への配慮を基本に、高次の都市機能と地方定住の核となるべき居住環境の整備を、総合的かつ計画的に実施することとする。

また、拠点地区における都市機能の整備によって、周辺部での産業、商業流通や観光・リゾートなどの各機能の整備を促進し、圏域の一体的な振興に資するものとする。

2. 3 当該地方拠点地区の整備方針と重点事業

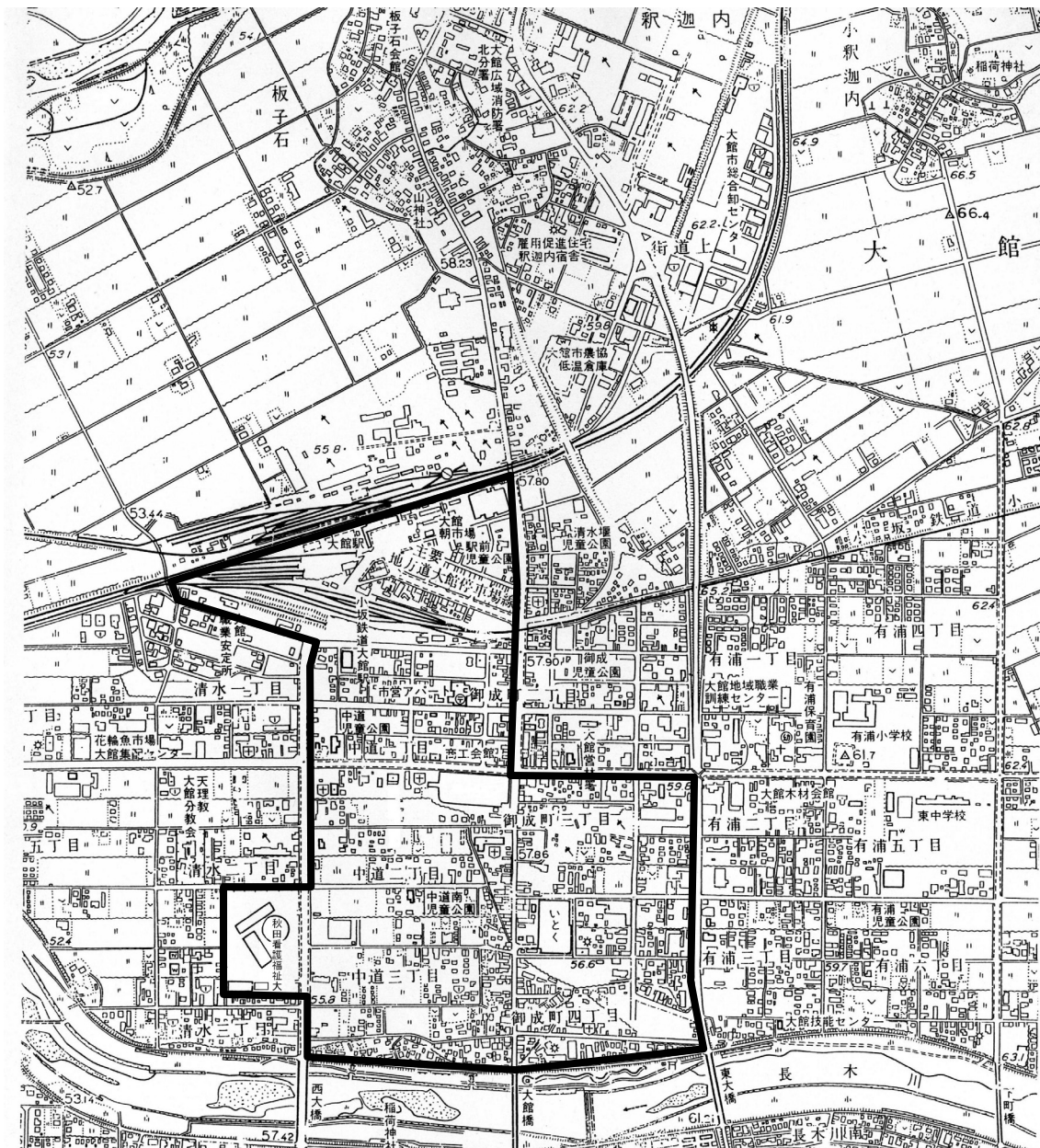
(1) 都市機能集積拠点地区

1) 区域

① 区域 大館駅南・御成町南地区

② 面積 71.4ha

③ 区域図



2) 拠点地区の現況

本地区は、鉄道ではＪＲ奥羽本線や花輪線、道路では国道７号・主要地方道大館十和田湖線のほか、日本海沿岸東北自動車道の整備にともなうアクセス道の整備により、交通の利便性に恵まれている。一方、交通体系の変化にともなう各種都市施設の郊外立地などにより、中心地域の都市機能の低下が顕著になってきている。

このようなことから、道路網・下水道等の整備による住環境の整備、看護福祉大学による人材の育成、企業誘致の促進等により、教育文化、産業支援、定住環境、交流環境の充実を図り、若者の定住を促進する必要がある。

3) 整備の方針と重点事業

本地区は、国道７号と主要地方道大館十和田湖線が拠点都市地域内を縦横断していることに加え、日本海沿岸東北自動車道等の整備により、北東北の交通上の中心地区となっている。また、地区南側に地区南側に隣接する長木川がもたらす豊かな水と緑は、快適な都市空間を創り出してきた。

この有利な条件を生かしながら、企業の誘致・集積、圏域内外との交流の活発化、中心市街地の魅力ある形成を目指す。

このため、産業支援のための基盤整備や交通の要衝としての利便性をさらに向上させることによって、物流拠点としての都市機能を総合的に高めるとともに、ゆとりと潤いのある快適な居住環境を形成するため、御成町南地区土地区画整理事業及び大館駅周辺等の整備により、美しいまち並みと商業機能の複合的整備を図り、都市としてのにぎわいを創出する。

重点的に整備される産業業務施設や教養文化施設などの概要

概ねの位置	種 類	活用の方針
大館市御成町	御成町南地区土地 区画整理事業	住環境の整備 幹線道路網等の整備

(2) 都市機能集積交流拠点地区

1) 区域

① 区域 能代駅前、畠町等

② 面積 63ha

③ 区域図



2) 拠点地区の現況

本地区は、圏域を縦断する米代川河口に近接した、能代市のほぼ中央に位置する地区であり、畠町、柳町など複数の商店街が形成されているほか、官公庁、教育施設、体育施設などの行政の中核施設が集積している。

地区内には、若者から高齢者まで快適に居住できる住宅と保育所、デイサービスセンター等を合築した複合施設「能代ふれあいプラザ」が整備されており、世代間の交流拠点としての機能を果たしている。

3) 整備の方針と重点事業

中心市街地に人の流れを呼び込むため、地区内の商店街再生につながる支援等を強化し、魅力ある商店街を形成するとともに、若者や高齢者にとっても暮らしやすい住環境の基盤整備を進め、定住人口の増加を図る。

併せて、都市中心部の既存の公共施設・用地を有効に活用するとともに、官公庁、教育施設、体育施設などの公共施設が集積する、行政エリアとしての機能を維持する。

また、このまちづくりを進める際には、「木都」や「バスケットの街」としての地域特性をアピールしながら、多様な人々のにぎわい、幅広い交流を創出する。

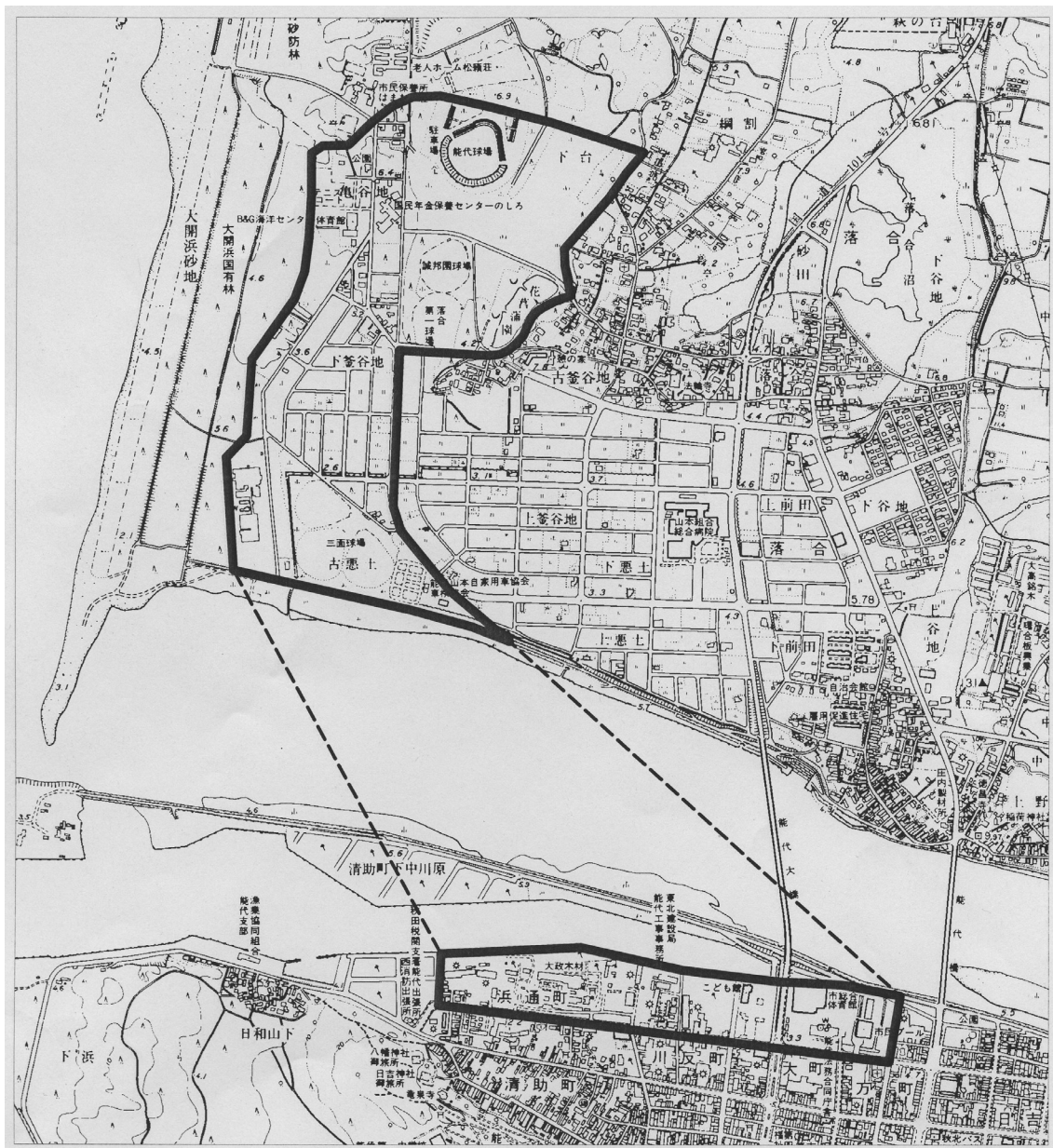
重点的に整備される住宅及び住宅地

概ねの位置	種 類	活用の方針
能代市住吉町	市営住吉町住宅 ・ 社会福祉施設を 併設	1 5 0 戸 定住人口の増加を図り、地区内のにぎわい創出につなげる。

(3) シーサイドスポーツリゾート拠点地区

1) 区域

- ① 区域 能代市落合地区、河畔公園地区
- ② 面積 83ha
- ③ 区域図



2) 拠点地区の現況

本地区は、米代川河口に沿った能代市の落合及び河畔公園地区から成り、ウォーターレクリエーションエリアとして利用されている米代川河口水面を含んでいる。

落合地区には能代山本スポーツリゾートセンターのほか、野球場やテニスコート等のスポーツレクリエーション施設、また、温泉を活用した保養・宿泊施設があり、河畔公園内に整備された総合体育館、市民プール等とともに、ゆとりとやすらぎを与える空間の中で一体的な整備が図られている。

今後、市民の健康意識の向上等に対応し、流域全体の活性化と交流人口の増加を図るため、その機能を一層充実する。

3) 整備の方針と重点事業

地区のスポーツリゾート機能を一層充実させるため、総合運動公園や河畔公園等の整備を進め、圏域内における幅広いスポーツリゾート交流と観光機能を兼ね備えた拠点形成を図る。

また、能代山本スポーツリゾートセンター、能代球場、総合体育館等のほか、日本海や米代川などの自然のフィールドを含めて、スポーツ活動の拠点となる既存施設等を有効に活用するとともに、それぞれの有機的な結びつきを強化しながら、幅広くスポーツを体験・観戦できる環境の整備を図り、交流人口の拡大につなげる。

特に、バスケットボールについては、全国レベルの大会の開催や国際的な試合を誘致するとともに、競技人口の底辺拡大を図るなど、「バスケットの街」にふさわしい取り組みを推進する。

重点的に整備される産業業務施設や教養文化施設などの概要

概ねの位置	種 類	活用の方針
能代市落合字古悪土	公園	多様な市民スポーツへの対応を図りながら、休養地・行楽地として来訪者へ安らぎを与える。
能代市 浜通町 川反町 外	公園	総合体育館や市民プールなどの既存施設の有効活用を図りながら、休養地・行楽地として来訪者へ安らぎを与える。

(4) 花輪中心地区多機能交流拠点地区

1) 区域

①区域 鹿角市鹿角花輪駅周辺地区及び花輪通り線商店街

②面積 62.3ha

③区域図



2) 拠点地区の現況

本地区は、東北自動車道八幡平インターチェンジに近接しているほか、中心部に JR 花輪線鹿角花輪駅が位置しており、拠点都市地域の東側の玄関口となっている。

近年、街路の拡幅整備が行われるなど近代化が進んでいるが、駐車場の整備が遅れているなど自動車利用客の増大への対応は充分とは言えない。また、区域内にある地域中核病院の郊外移転が予定されており、周辺商店街への影響が予想されていることから、跡地周辺の振興が課題となっている。

空洞化の進行は懸念されているが、空き店舗を利用した出店が比較的多く見られるほか既存大型店舗の改築が行われるなど、依然として市内の中心商業地区として活発に機能している。また、近年、地区内に複合型福祉施設である市福祉プラザや、IT と音楽活動の拠点である市交流プラザがオープンするなど、地区の新たな顔となる公共施設の整備が進んでいる。

鹿角観光ふるさと館は「道の駅」として多くの観光客を集めているが、地区全体として観光客の滞留につながる整備が不十分である。また、地区に近接している花輪スキー場を中心に全国規模のスポーツ大会が盛んに開催されており、観光やスポーツを通じた交流拡大と、交流を活かした地区の活性化が課題となっている。

3) 整備の方針、導入機能及び実施すべき事業の概要

地域中核病院跡地は地区全体の活性化を図る上でも重要な位置にあることから、広大な面積を生かし、屋外イベントスペースや、駐車場・駐輪場施設等を備えた多目的公園を整備する。

また、同跡地において、図書館機能を中心にした複合型文化交流施設の整備を進め、同跡地を地区内外の交流拠点として活用する。情報通信基盤の整備が進み、インターネットを利用した情報収集が一般化する中で、図書館に対して新しい役割が求められていることから、図書館機能については、高い情報受発信機能を持ち、地域の新たな学習・情報の拠点としてふさわしいものとする。

道の駅との連携を図りながら地区における観光客の滞留を図ることが、地区の振興を図る上で、また、「鹿角観光」を掲げる本市全体の観光施策の上で重要である。そこで、現在の定期市場が地域住民だけでなく観光客に対しても魅力あるものとなるよう、定期市場周辺に残る歴史的建造物と調和した空間として再整備する。

まちづくり会社や商業者団体等との協力と役割分担のもと、自動車利用客の利便性向上のための歩行者環境整備、空き店舗の利活用策を促進する。

重点的に整備される産業業務施設や教養文化施設などの概要

概ねの位置	種 類	活用の方針
花輪八正寺	コミュニケーションイベントエリア	賑わいのあるイベント空間を創出すると共に、商店街の利便性向上に資する駐車場・駐輪場を整備する。
花輪八正寺	学習・交流活動拠点施設	高い情報受発信機能を持つ図書館施設を備えた交流拠点とする。
花輪上花輪	市民・観光市場	周辺市街の景観と調和を図り、観光客にもアピールする施設としてリニューアルする。

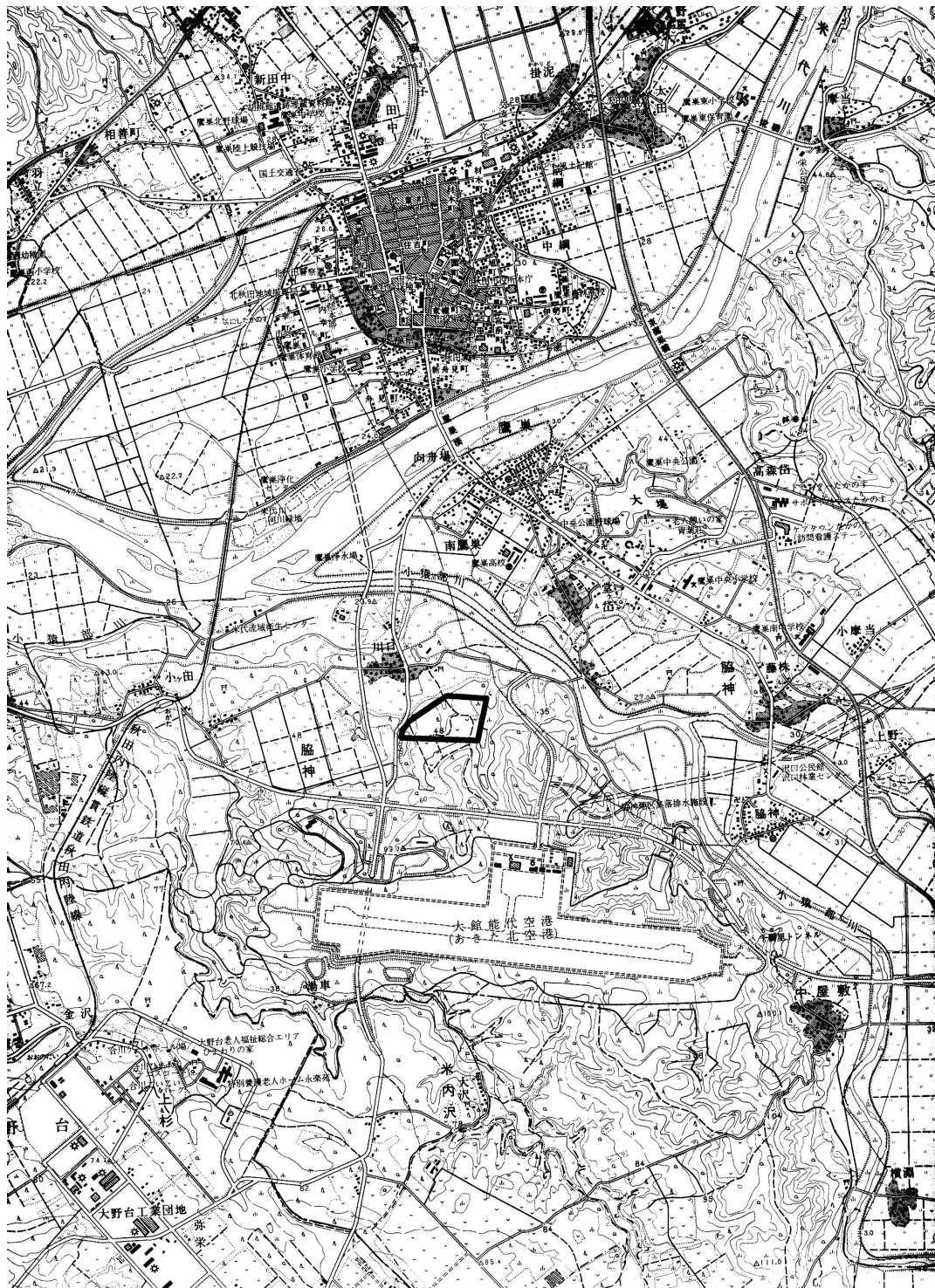
(5) エアフロント都市交流拠点地区

1) 区域

①区域 北秋田市脇神

②面積 13.0ha

③区域図



2) 拠点地区の現況

本地区は、流域地域のほぼ中央に位置するとともに、平成 10 年に開港した大館能代空港は、年間 15 万人以上の人々が利用しており、秋田県北部の空の玄関口となっている。さらに、日本海沿岸東北自動車道の延伸により、大都市圏と直結した交流の機会が増加することが予想されることから、空港や I C からのアクセスの強化を図っていくことが必要である。

また、森吉山、阿仁川、小又川、北欧の杜などの豊かな自然環境は、都市居住者にとっては、癒しややすらぎをもたらす魅力的な自然環境であり、都市との交流の核として大きなポテンシャルをもっている。

3) 整備の方針、導入すべき機能及び実施すべき事業の概要

大館能代空港の利活用及び日本海沿岸東北自動車道の延伸などにより、今後ますますの流域地域内の空の玄関口としての機能が必要とされている。高速交通体系の利便性を最大に活かし、流域内外におけるビジネス・観光・交通の拠点として整備を図っていく必要がある。

特に、流域が有する豊かな自然環境、歴史・伝統文化といった豊富な地域資源を観光産業として活用するため、スローツーリズムの拠点としての宿泊施設等の整備を推進し、積極的な交流と連携を進めていくことが求められる。

また、大館能代空港を中心とした道路交通網の整備は、商業や観光の振興、地域間交流にも密接に結びついていることから、より一層の整備が求められる。

重点的に整備される産業業務施設や教養文化施設などの概要

概ねの位置	種 類	活用の方針
北秋田市脇神	宿泊施設	本施設を活用し、流域内外のビジネスや観光などの地域間交流の拠点として促進を図る。

拠点地区字名表

	市町村名	町又は大字名	字名
都市機能集積拠点地区	大館市	御成町	一丁目の一部、二丁目の一部 三丁目の一部、四丁目
		清水	一丁目の一部、二丁目の一部
		中道	一丁目、二丁目、三丁目
		有浦	二丁目の一部、三丁目の一部
			清水堰添の一部
都市機能集積交流拠点地区	能代市	上町 畠町 富町 柳町	全域
		住吉町 東町 元町 万町 日吉町 大町	一部
シーサイドスポーツリゾート拠点地区	能代市	落合	下台の一部 亀谷地の一部 下釜谷地の一部 古悪土の一部 大開の一部
		浜通町 川反町 大町 万町	一部
中心地区多機能交流拠点地区	鹿角市	花輪	上花輪の一部、中花輪の一部 下花輪の一部、堰向 上中島の一部、下中島の一部 八正寺の一部、下中島の一部 堰根川原の一部 高井田の一部、牛川原の一部
エアフロント交流拠点地区	北秋田市	脇神	上金堀の一部